

以下、本文-----

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

内頸動脈閉塞術時の high flow bypass の研究

1. 研究の対象

2006年4月1日から2022年3月30日までの間に、当院の脳神経外科で脳動脈瘤に対しハイフローバイパス手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

目的：下記の試料・診療情報等を利用し、脳動脈瘤に対するハイフローバイパス手術後のバイパス開存を確実にすることを目的とした研究を実施するため、当院において脳動脈瘤に対するハイフローバイパス手術の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに画像や血液検査などのデータを選び、手術後のバイパス開存に関する要因の分析を行い、手術後のバイパス開存の機序について調べます。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・診療情報等：診断名、年齢、性別、身体所見、手術所見と術中画像、検査結果（血液検査、画像）等
- ・試料：なし

4. 情報の提供先・提供方法

情報提供はありません。

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2300）

研究責任者 脳神経外科 反町 隆俊

問い合わせ担当者 脳神経外科事務局 佐藤 明美

-----以上